

あなたは、この場面でどのように考える？

いつもの事例検討とは

一味違う推論演習

～場面がどんどん展開していく

事例演習で鍛える実践力～

開催日時・会場

2026

3/17(火)

13:30~16:30

宇治市役所8階大会議室

本研修では、支援者の「考えるプロセス（推論）」に光をあてます。ある場面に遭遇した際に、グループのみんなで力を合わせて「どうして」「どのように」考えるかを話し合い、次にとる行動を決断してください。おそらく普段は無意識のうちにやっているプロセスを、今回は時計の針を止めて、クライエントや家族のために最善策を考え出す事例演習に取り組みます。事例は、みなさんの仲間（宇治市在勤居宅の介護支援専門員）が難しさを抱きながら担当している事例を再構成したものを取り扱います。仲間のために、みなさんの過去の経験、持っている専門知識やスキル、その場で湧いてきたアイデアなど、すべての資源を動員し、いくつもの策を生み出しましょう。

演習の進行は、講師が務めます。参加者には以下の二つのことをお願いします。まずは、「勇気・礼節・寛容」な態度での参加をお願いします。そしてもうひとつは、当たり障りのない発言や理念的な発言、「べき論」による発言では、職場に戻って実際にやってみようと思った時に、ほとんど役に立ちません。その事例の世界に積極的に入り込み、自分がケースの担当者である立場にたって考え方を抜く姿勢をお願いします。

講師

野村 裕美氏

同志社大学 社会学部教授

【講師のご紹介】

同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒業、同大学院文学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了。市立病院、大学病院にて医療ソーシャルワーカーとして勤務。2005年より同志社大学社会学部に入職。2021年より公立大学法人長野大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程に在籍、ソーシャルワーカーのプロフェッショナル・コンピテンス研究に取り組んでいる。社会福祉士、精神保健福祉士。

日本保健医療社会福祉学会副会長、救急認定ソーシャルワーカー認定機構理事、日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチーム副委員長。2023年度アルコール健康障害に係る地域における医療・福祉・警察・司法・職域等との連携ガイドライン作成検討委員会委員。



定員

45名

(事前申込み制／先着順)

締切 3月6日(金)

対象

宇治市に所在する全指定
介護保険サービス事業所の職員

多職種連携の学びを深めるためにも、
複数職種のみなさまの参加をお待ちしています！

お問い合わせ／お申込み先（委託先）

一般財団法人

宇治市福祉サービス公社
28-3150

お申込みはこちらの
フォーム・二次元コードから

<https://forms.gle/z4pxE3pCLHJ72XjcA>

